

特集 議会×粕屋警察署少年補導員 座談会

少年非行の防止活動

少年補導員の声を聴きました

粕屋警察署少年補導員（須恵支部）の方々と対談しました。
 昭和42年、警察署長委嘱の少年補導員制度が発足しました。当時は、少年による重大事件やいじめ事案など、少年非行が多発していた時期でした。
 福岡県警は、39ある警察署に2418名の少年補導員を委嘱し、少年補導員の体制強化を図り、現在に至っています。



令和3年5月12日対談

非行少年を生まない社会づくり

パトロール中に、女の子がタバコを吸っているところに遭遇しました。顔見知りであることで声をかけ、親しく話をすることができ、地域の子どもとつながる事の大切さを実感しました。

補導員・指導員 合屋 弘子 さん(12年)

活動する中で、良い仲間と知り合えたことが良かったです。サポートの役場の方々とも知り合え、協力していただき、良い町になったと感じています。

支部長 古島 善治 さん(17年)

最近はコンビニ前などでたむろする少年を見かけなくなりました。その分、家の中でどのように過ごしているのが心配です。学校との情報交換をしていきたいと思っています。

副支部長 中島 隆 さん(8年)

補導員になった当初は大変な時代でしたが、今は暴走族もいなくなり、素晴らしい町になりました。昔非行に走っていた少年が、更生して声をかけてくれるのが嬉しいです。

元支部長 吉松 学 さん(20年)

長年、補導員として活動する中で、警察関係者との信頼も生まれました。その間、県の理事までさせていただき、警察庁長官からの表彰を受け、大変光栄に思います。

元支部長 平野 一幸 さん(25年)

歴史は？

粕屋警察署少年補導員のあゆみを教えてください

補導員
東警察署を分割して、平成6年3月18日に粕屋警察署が設立されました。同時に、粕屋警察署少年補導員が発足し、8名が須恵町1回生となりました。

現況は？

補導員の現況はどうなっていますか

補導員
40歳代～60歳代の13名で活動しています。75歳が定年です。女性も3名います。

活動内容は？

どのような活動を行っていますか

補導員
糟屋地区1市7町の自治体ごとに部会を置き、毎月それぞれの町に必要な活動を展開しています。

補導員
須恵支部では、月2回夜8時から青パト3台で校区ごとにパトロールを行っています。今は、隣近所や地域の中でも、つながりが見つけにくいので、子ども達とつながる地域の目が大事だと思います。

補導員
有害環境の浄化や悪書追放として、3カ月に1回、新原駅、須恵中央駅、須恵駅、水戸病院前のバスロータリーに置かれた白いポストの中に入れられた悪書、DVDを片づける活動を行っています。

補導員
須恵町青少年指導員と合同で、12月第1日曜日に電柱のポスターや不法掲示物の撤去作業を行っています。また、成人式に参加して見守りや指導等もしています。近年は、成人式も何事もなく開催されています。

補導員
須恵町交番の植木の剪定も行っています。また、須恵・宇美・志免の3町合同研修会に参加し、スキルアップも図っています。

目的は？

活動の目的は何ですか

補導員
少年の非行防止に努め、健全育成を図ることが目的です。

補導員
少年たちを非行に走らせない、被害に遭わせないこと。そして、非行に走ってしまった少年を立ち直らせることを目的に活動しています。

補導員
地域の子どもは地域で守り育てる事を目的に啓発を行っています。

違いは？

青少年指導員との違いはどんなところですか

補導員
青少年指導員は須恵町の委嘱で、補導員は粕屋警察署の委嘱です。共に、青少年を取り巻く有害環境の浄化、青少年の非行防止活動に努めています。

課題は？

課題はありますか

補導員
ネットに関わる犯罪が増えていますが、時代に合うように勉強しないと、ついていけません。サイバーパトロールなどが今後の課題です。また、粕屋署管内では、面前DVや虐待が多く、コミュニティや学校との連携などが課題です。

みんなで取り組みましょう

補導員の方々には、少年の非行防止と健全育成活動に尽力していただき、感謝しております。
 近年は、インターネットに起因する事件や少年が被害者となる児童虐待事件等が増えていきます。
 普段から、地域や学校等子どもたちにとって身近な大人が関わり合い、ちょっとした異変に気付くこと、また、何かあれば子どもたちが相談しやすい関係を築くことが大切なのではないでしょうか。
 議会としても、地域の子どもは地域で守り育てる環境づくりに取り組んでまいります。

※対談中は、撮影時のみマスクを外してもらいました。